令和４年度　高体連報告書
バスケットボール専門部

専 門 部 長　　土井　研一
専門委員長　　福島　啓視

１　はじめに

一向に衰えを見せない新型コロナウイルス感染症と戦いながら三年が経とうとしている。依然、何らかの制限をかけなければ大会運営が滞ってしまう恐れがあるため、各学校の先生方や保護者のご理解・ご協力をいただきながら、2021～2022 シーズンも選手ファーストをモットーに専門部一丸となって様々な活動を行うことができた。特に高体連や一般社団法人佐賀県バスケットボール協会・関係各位のご支援・ご協力に、この場をお借りし、心より御礼申し上げます。

さて今シーズン、新人大会兼全九州春季大会県予選を無事終了することはできたが、これに続く三月に大分県で開催予定だった本戦は、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となり、三年連続となるこの判断に今シーズンも出場予定であったチームは肩を落とすこととなった。そんな中、予定していた県内公式大会については何とか終了できたので各大会を振り返り、今シーズンの反省ならびに今後の課題を上げてみたいと思う。

２　一年間を振り返って

男子は、佐賀北・佐賀東に続いて鳥栖工・武雄高がしのぎを削っている。変化としては、新人大会兼全九州春季県予選で鳥栖工が佐賀東を破る金星を挙げたことである。これまで続いていた二強時代に終止符を打つ勝利として、明るいニュースとなった。しかし、続く県春季大会では佐賀東が鳥栖工にリベンジし、佐賀北の対抗馬は自チームであることを十分にアピールした。しかし、今年度は佐賀北が頭一つリードしており、その戦い方にも安定感があり、全ての大会で文句なしの優勝を果たした。しかし高校総体では、これに続く２位争いは熾烈で昨年の女子のように鳥栖工・武雄高・佐賀東が三つ巴となった。二敗で後のなくなった佐賀東だったが、最終の鳥栖工戦を１４点差以上で勝利すれば第２位に入る可能性が残っていることもあり、その集中力は凄まじかった。試合は佐賀東がギリギリ条件を満たす点差で終了となり薄氷の勝利を掴んだ。その結果、武雄高より得失点率が上回った佐賀東が第２位となり、九州大会出場を獲得した。なお、今シーズンの佐賀東・武雄高・鳥栖工に力の差はなく、各大会ともに息の抜けない好ゲームの連続で、大変盛り上がった一年であった。

女子は、相変わらず佐賀北に勢いがあり、新人大会兼全九州春季県予選と県春季大会では

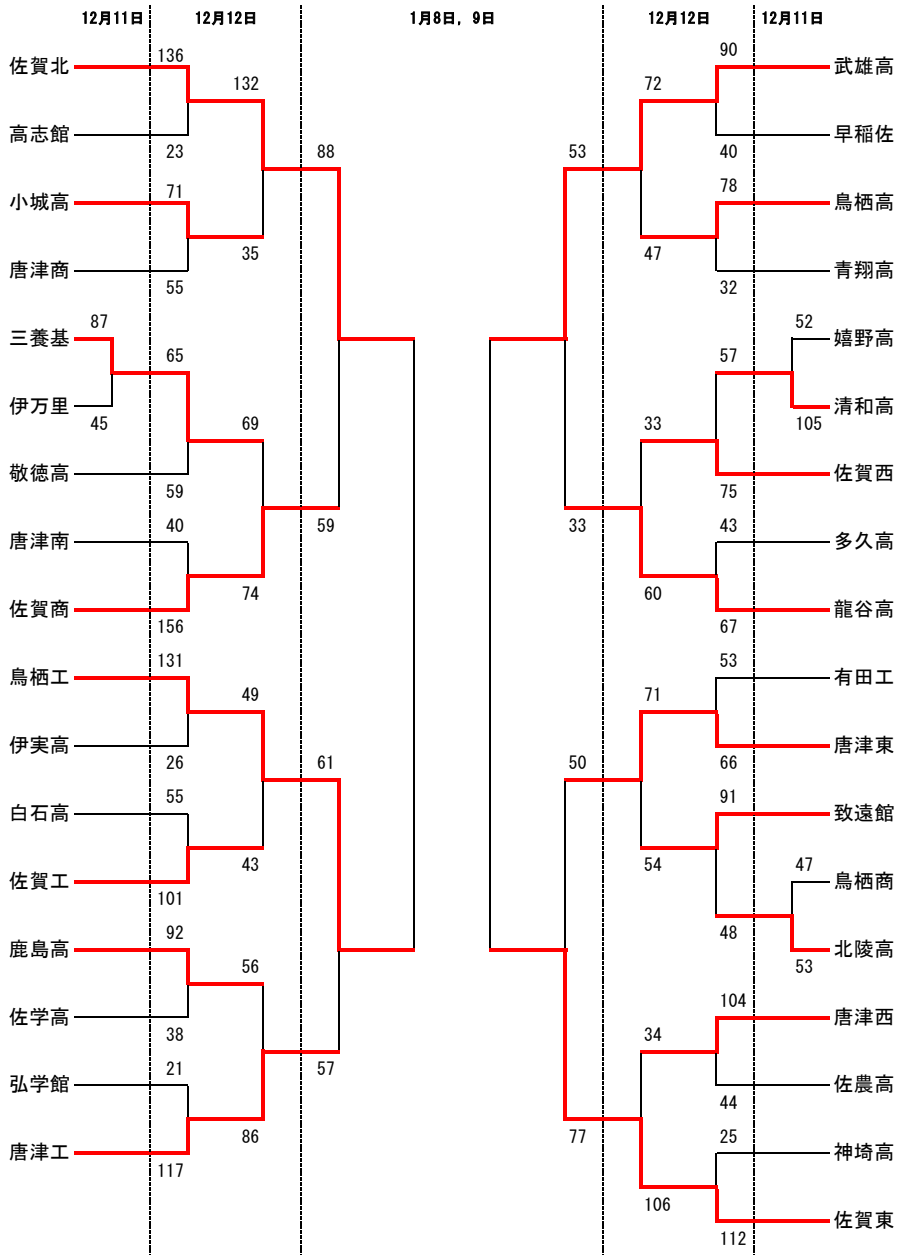
見事優勝を果たした。しかし、その勢いに陰りが見えたのは高校総体であった。先頭を走る佐賀北を他校が追うお馴染みの展開、掴めそうで掴めない女王の後ろ髪、もがき苦しみ必死に抵抗し続けるライバル校…。「今年は何か起こらんかなー？」と期待をしたくなる高校総体でその時はやってきた。昨シーズン、三つ巴の末に佐賀北が制したことは記憶に新しく、それだけにあと一歩のところで涙をのんだ清和高・佐賀商は、今シーズン、リベンジに大いに燃えていた。しかし時として番狂わせが連鎖する高校総体、４シードである佐賀商が佐賀西に、同じく佐賀東は延長で致遠館に敗れる波乱が起こり姿を消す。そんな中、決勝リーグは順当に勝ち星を上げた佐賀北と清和高の一騎打ちとなり意地と意地がぶつかり合う。しかし、復権に燃える清和高は攻守にわたり佐賀北を圧倒し、序盤からゲームを支配する。後半に詰め寄られる場面もあったが冷静に対応し少しずつリードを広げていく。終盤、焦る佐賀北に挽回する返す余力は残っておらず、逆に清和高はこれまでの鬱憤を晴らすべく最後までパフォーマンスを落とすことなくコートを駆け回った。６年ぶりの歓喜の瞬間、喜びを爆発させる清和高の姿に立場を忘れただただ感動した。敗れはしたが佐賀北をはじめとする各校にも労いの言葉と拍手を送るに相応しい高校生らしい高校総体であった。来シーズンは、佐賀北・清和高以外でも、大型選手を複数擁する佐賀西と、同じ進学校で劣悪な環境でありながらチームに合った戦術と知的バスケットで隙あらば勝利をもぎ取ろうとする致遠館の動向に目が離せない。

　ところで、全国・九州へ目を向ければ、男子は佐賀北が全国選手権大会・インターハイともに僅差で惜敗、女子は全国選手権大会で佐賀北・インターハイでは清和高が大敗を喫した。九州大会に出場した男子の佐賀東も然りである。各チームとも鍛錬の成果を随所に発揮しているが、その壁はなかなか越えられず苦汁をなめさせられている。２年後に、本県で全国国民スポーツ大会を控えているが、これに弾みをつける勝利を一日でも早く挙げられるよう佐賀県全体が一致団結し、互いを刺激し合いながらさらに精進してほしいと願うばかりである。

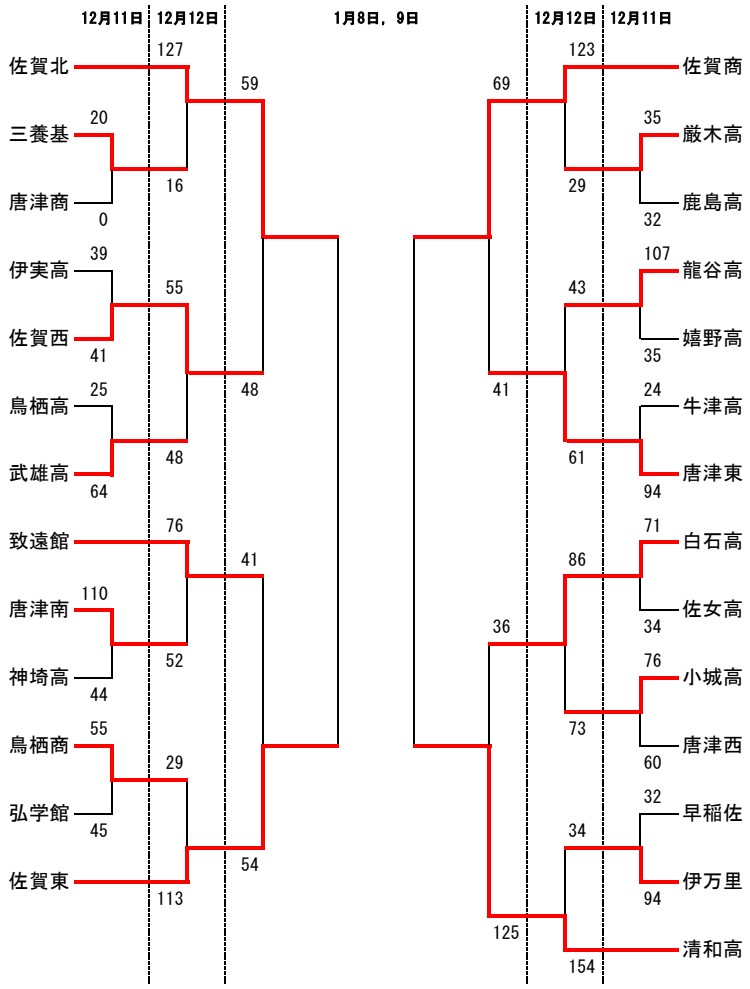
３　各大会成績

第73回佐賀県高等学校バスケットボール新人大会 兼 第52回全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会佐賀県大会

≪男子≫



≪女子≫



【男子】 決勝リーグ

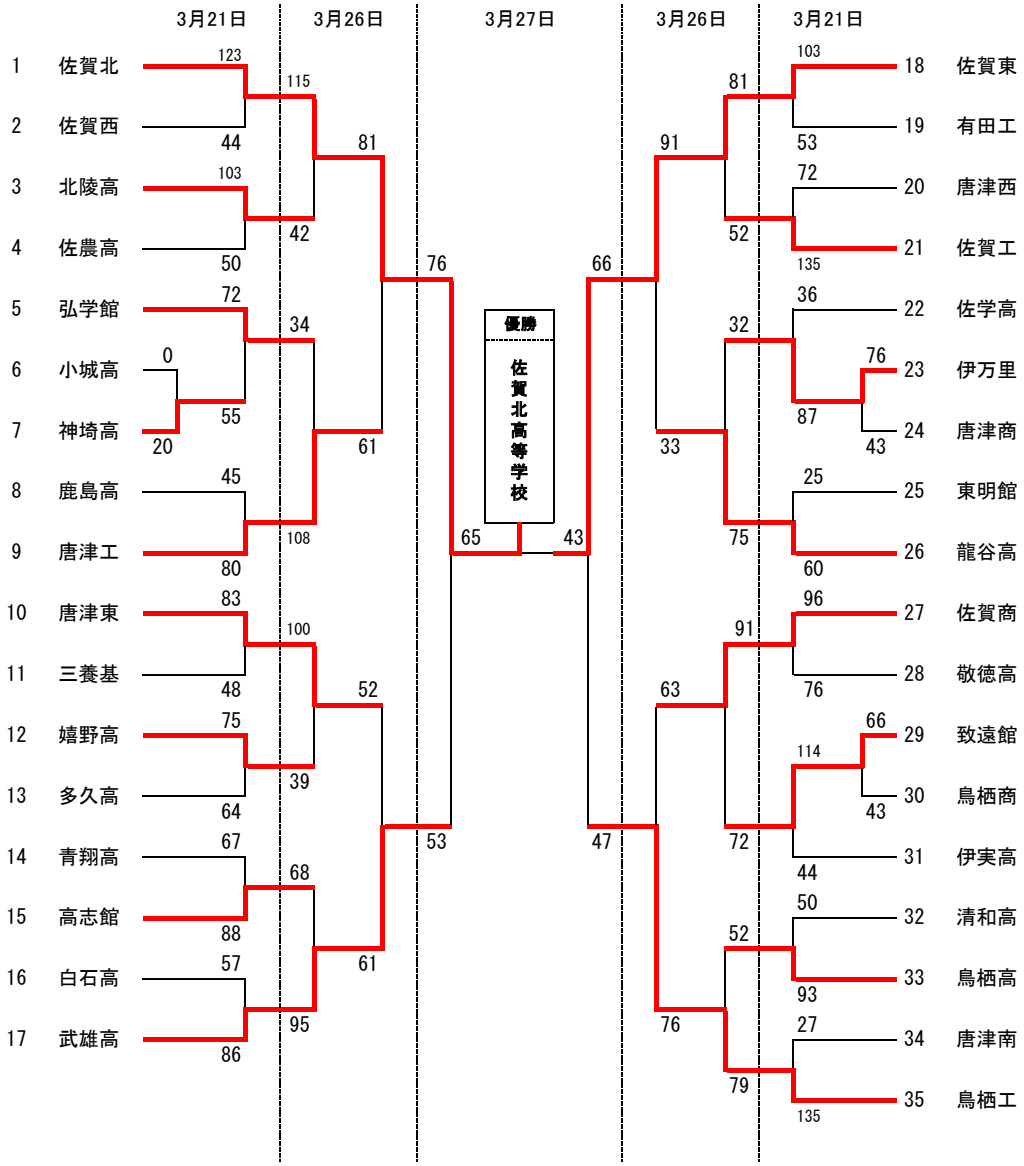
優　勝	佐賀県立佐賀北高等学校 3大会ぶり19回目の優勝	3勝
2　位	佐賀県立鳥栖工業高等学校	2勝1敗
3　位	佐賀県立佐賀東高等学校	1勝2敗
4　位	佐賀県立武雄高等学校	3敗

【女子】 決勝リーグ

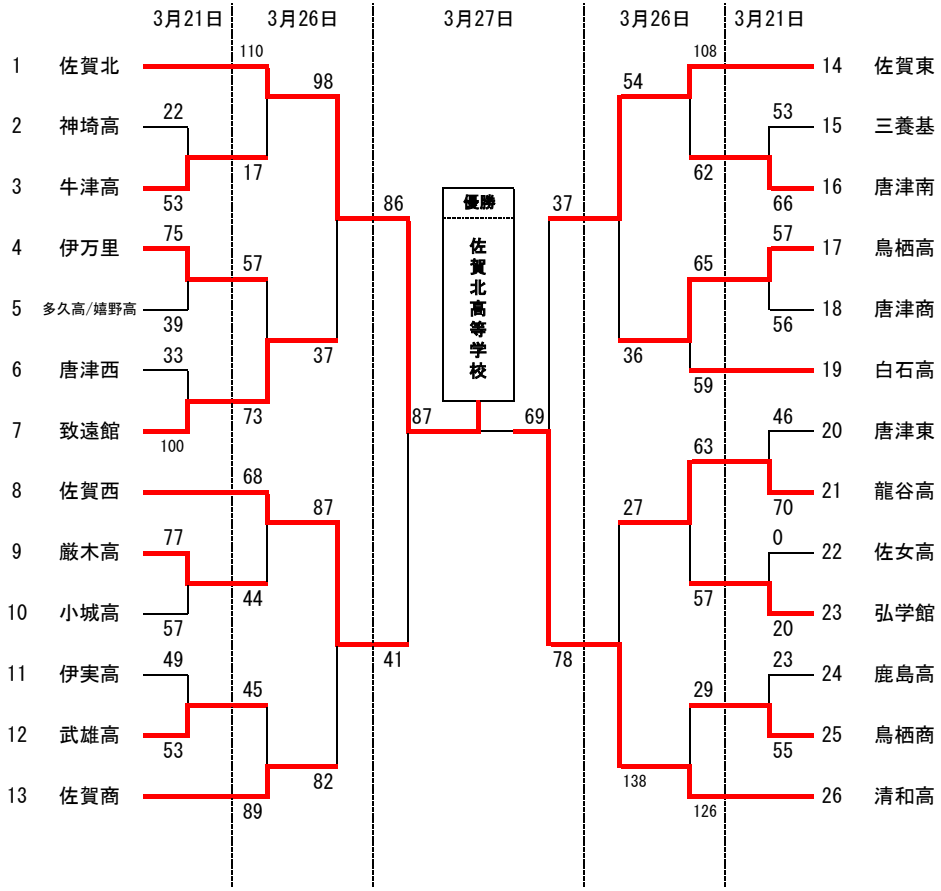
優　勝	佐賀県立佐賀北高等学校 2大会ぶり9回目の優勝	3勝
2　位	佐賀清和高等学校	2勝1敗
3　位	佐賀県立佐賀東高等学校	1勝2敗
4　位	佐賀県立佐賀商業高等学校	3敗

第53回佐賀県高等学校バスケットボール春季選手権大会

≪男子≫



≪女子≫



【男子】

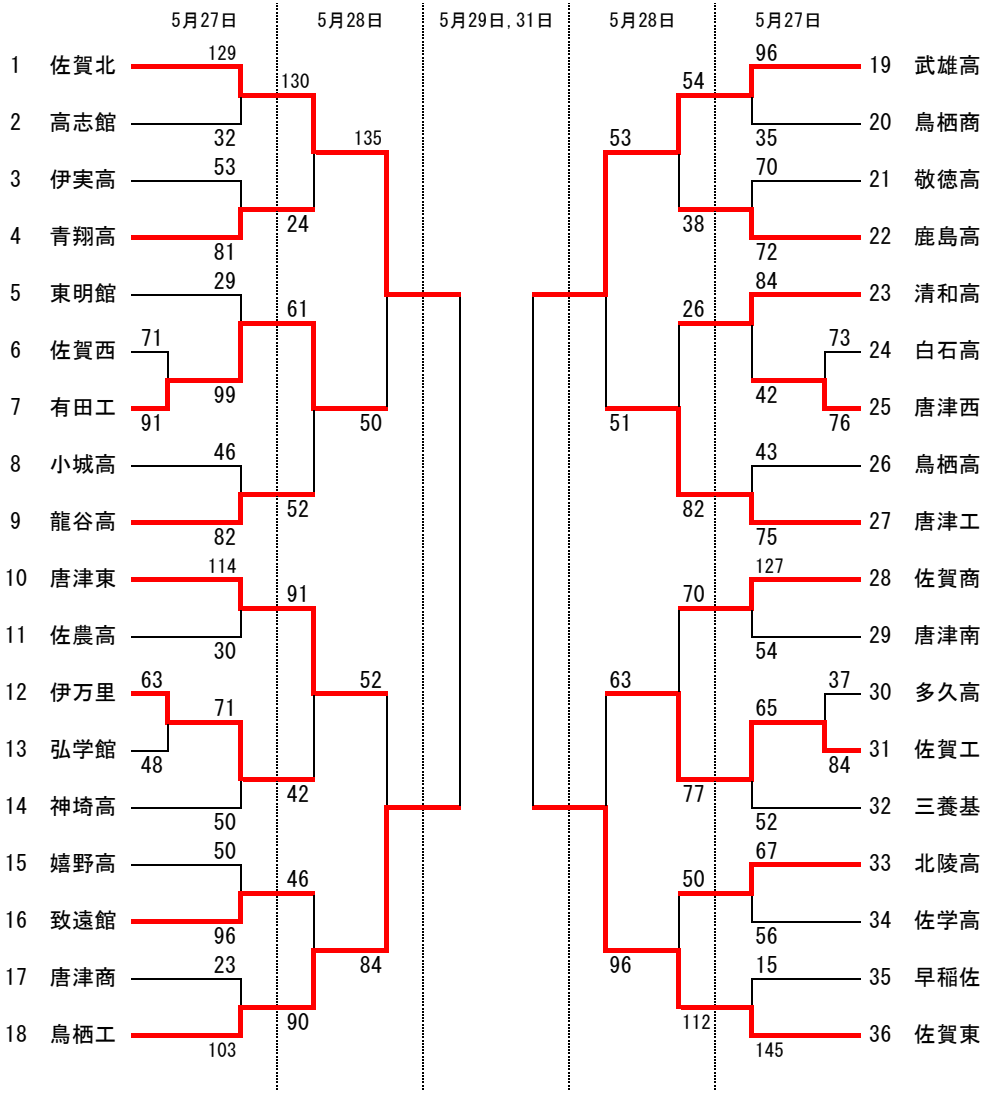
優　勝	佐賀県立佐賀北高等学校 2年連続20回目の優勝
2　位	佐賀県立佐賀東高等学校
3　位	佐賀県立武雄高等学校
3　位	佐賀県立鳥栖工業高等学校

【女子】

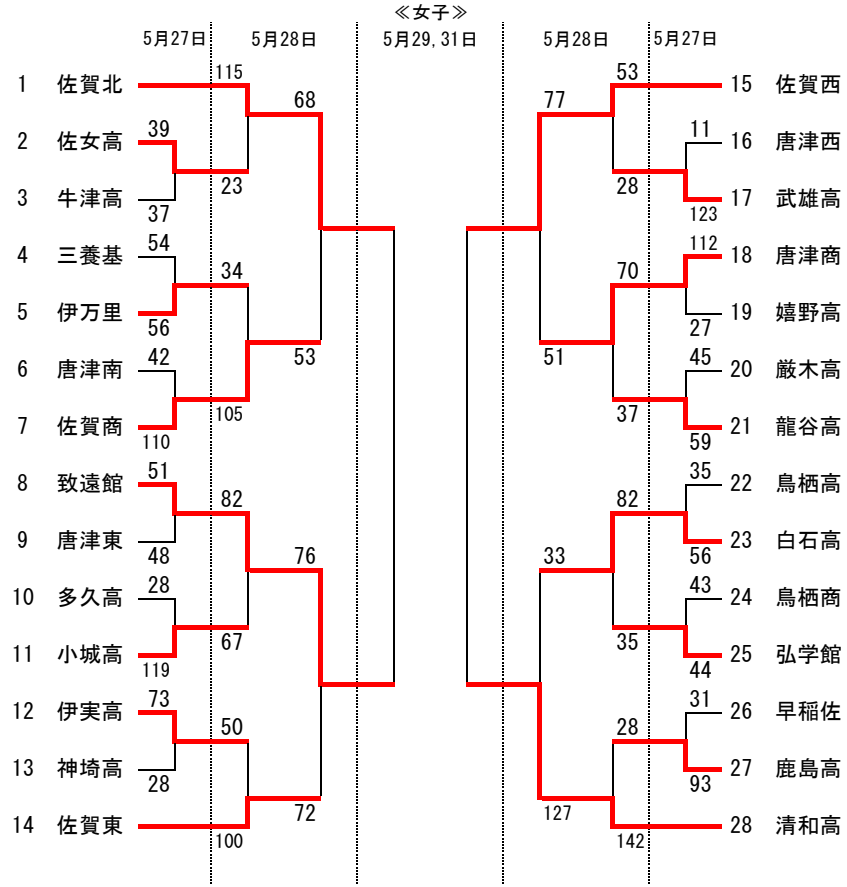
優　勝	佐賀県立佐賀北高等学校 3年連続13回目の優勝
2　位	佐賀清和高等学校
3　位	佐賀県立佐賀西高等学校
3　位	佐賀県立佐賀東高等学校

令和4年度　第60回佐賀県高等学校総合体育大会　バスケットボール競技

≪男子≫



≪女子≫



【男子】
第1位　佐賀県立佐賀北高等学校
　　３年ぶり２３回目
第2位　佐賀県立佐賀東高等学校
第3位　佐賀県立武雄高等学校
第4位　佐賀県立鳥栖工業高等学校

＊男子の2～4位は得失点率により順位を決定

【女子】
第1位　佐賀清和高等学校
　　６年ぶり３９回目
第2位　佐賀県立佐賀北高等学校
第3位　佐賀県立佐賀西高等学校
第4位　佐賀県立致遠館高等学校

男子決勝リーグ（5/29）

佐賀北	７６－６３	鳥栖工
武雄高	６７－５７	佐賀東
佐賀北	６７－４５	佐賀東
鳥栖工	６６－６０	武雄高

女子決勝リーグ（5/29）

佐賀北	９０－３４	致遠館
清和高	８５－６２	佐賀西
佐賀北	８９－５３	佐賀西
清和高	９５－４０	致遠館

男子決勝リーグ（5/31）

佐賀東	５０－３６	鳥栖工
佐賀北	６５－４１	武雄高

女子決勝リーグ（5/31）

佐賀西	７３－３３	致遠館
清和高	９１－６２	佐賀北